

# MODEL CK-41

## 組立説明書

この度は、TA-371用 7MHzアダプター CK-41 をご購入いただき誠に有難うございます。

このアダプターは、TA-371に取り付ける事により14/21/28MHzの性能をおとすことなく7MHzをロータリーダイポールとしてお楽しみいただけます。

高性能トラップを使用していますので高効率短縮型・ダイポールとして動作します。

組立の前に、この説明書をよく読んでから作業に入ってください。

### TA-371-40 仕様

■ 形式	7ele・Yagi
■ 周波数・動作	7MHz                  ダイポール 14MHz                 5ele 21・28MHz          6ele
■ 最大エレメント長	12.35m
■ ブーム長	7.31m
■ 回転半径	6.20m
■ 耐入力	14/21/28MHz    3KwSSB(送信モード) 7MHz                    2KwSSB(送信モード)
■ 受風面積	1.70m <sup>2</sup>
■ 重量	39.0Kg
■ 適合マスト径	48~60mm

### ご 注 意

1. PENETROX を塗らずにパイプを差し込みますと抜き差ししなくなる場合があります。
2. テナコートはアンテナが組み上がってから金属部分の表面に刷毛で塗って下さい。プラスチック部分には塗布しないで下さい。
3. PENETROX はアルミとステンレス等、電蝕起こす部分に塗りますと接触不良等に効果があります。
4. ネジの締め付けには、必ず PENETROX を塗って下さい。
5. 説明文の中で ( ) 内の数字は部品番号を示します。
6. 多人数で作業を行うときは、リーダーを決めて、その人の指図で進めて下さい。各自がばらばらに作業を行うと必ず組み立てミスが発生します。リーダーは他のメンバーの仕上がり具合を必ずチェックして下さい。

## 組立

- 部品表と各パーツとを照合し不足がないことを確認して下さい。
- このキットを組み立てる時に、既存のアンテナ第2ラジエタ - のトラップコイルが必要です。
- 既存のアンテナの第2ラジエタ - (給電部では無い方・リフレクター側)をフェーズラインが損傷しないように注意をして取り外し、トラップコイルだけを用意します。その他のエレメントは必要ありませんので混同しないよう先に片付けて下さい。
- 組立順序 (1)エレメントサポートLの組立  
(2)第2ラジエタ - エレメントの組立、取付  
(3)第3ラジエタ - の先端エレメントの交換  
(4)スタブユニットの取付
- このアンテナは7MHzのみ、SSBバンドとCWバンドの選択が必要です。
- SSBをおもに運用される方はコード (部品番号75 エレメントの2本線穴)を、CWを主に運用される方はコード (1本線の穴)を選択して組み立てて下さい。
- エレメントには「赤青」カラーコードがあります。中央のエレメント以外は、カラーコードがすべてブームの方に向くようになり、差し込むと見えなくなります。(部品番号69は除く)  
カラーコード青のエレメントは第3ラジエタ - の交換用エレメントです。

### 1. ラジエタ - エレメントの組立 (図1、図3参照)

- エレメントサポートL(61)にインシュレーター(65)をM5×20ネジ(66)とM5ロックワッシャー(68)を使い軽く止めます。
- エレメント(片側が二重の長い方のパイプ)(69)を、エレメントサポートに取り付けたインシュレーターにM5×50ネジ(67)とM5ロックワッシャー(68)を使ってしっかり固定します。この時エレメント(69)の先端の穴が下側(エレメントサポートの方向)になるように必ず取り付けて下さい。
- エレメントを取り付けた後、先ほどのM5×20(66)をしっかりと締め付けます。
- エレメントサポート補強材(62)をエレメントサポートL(61)にM5×35ネジ(63)を使い取り付けます。
- エレメント(70)のカラーコード側をエレメント(69)に差し込み、4×8セルフタップネジ(77)で締め付けます。
- エレメント(70)に本体から取り外したトラップを差し込みます。この時、トラップの黒いキャップに近いところにある穴を使ってネジを止めます。トラップには方向がありますので注意して下さい。
- 今組み立てたトラップAのパイプの端に穴が有るのを確認し、エレメント(71)をトラップのパイプの上に差し込んでネジ止めします。エレメント(71)のマーキングがトラップ側に有るのを確認して下さい。同様に、ラジエタ - トラップ(72)、エレメント(73)、エレメント(74)、エレメント(75)の順に取り付けます。トラップは左右に方向がありますので必ずカラーコード側がブームを向くようにして下さい。最後にエレメント(69)とエレメント(75)にエレメントキャップ(84)(85)をかぶせます。

### 2. ラジエタ - の取付 (図1、図3参照)

- 組立の終わったラジエタ - エレメントをブームの赤青のカラーコードに合わせて、エレメントクランプ大(81)と5/16×51×125Uボルト(82)を使って止めます。
- 第2ラジエタ - エレメント(69)の最もブームよりのM5×50ネジ(67)とロックワッシャー(68)を一度外して、フェーズラインエレメントを通して再度エレメントを止める。フェーズラインエレメントの張りが適当になるようにエレメントの位置を調整して下さい。
- フェーズラインエレメントがクロスしていることを確認して下さい。給電エレメントの右に止めてあるフェーズラインエレメントは第2ラジエタ - では左になります。
- エレメントの4つ有るトラップのドレンホールが、下を向いているかどうかを確認して下さい。トラップのドレンホールは必ず下に向けて下さい。

### 3. 第3ラジエタ - の先端エレメントの交換（全体図参照）

- 第3ラジエタ - （取り替えたラジエタ - ではなく、もう1本後ろのラジエタ - ）の1番先端部のエレメントをキット付属のエレメント(76)と交換して下さい。

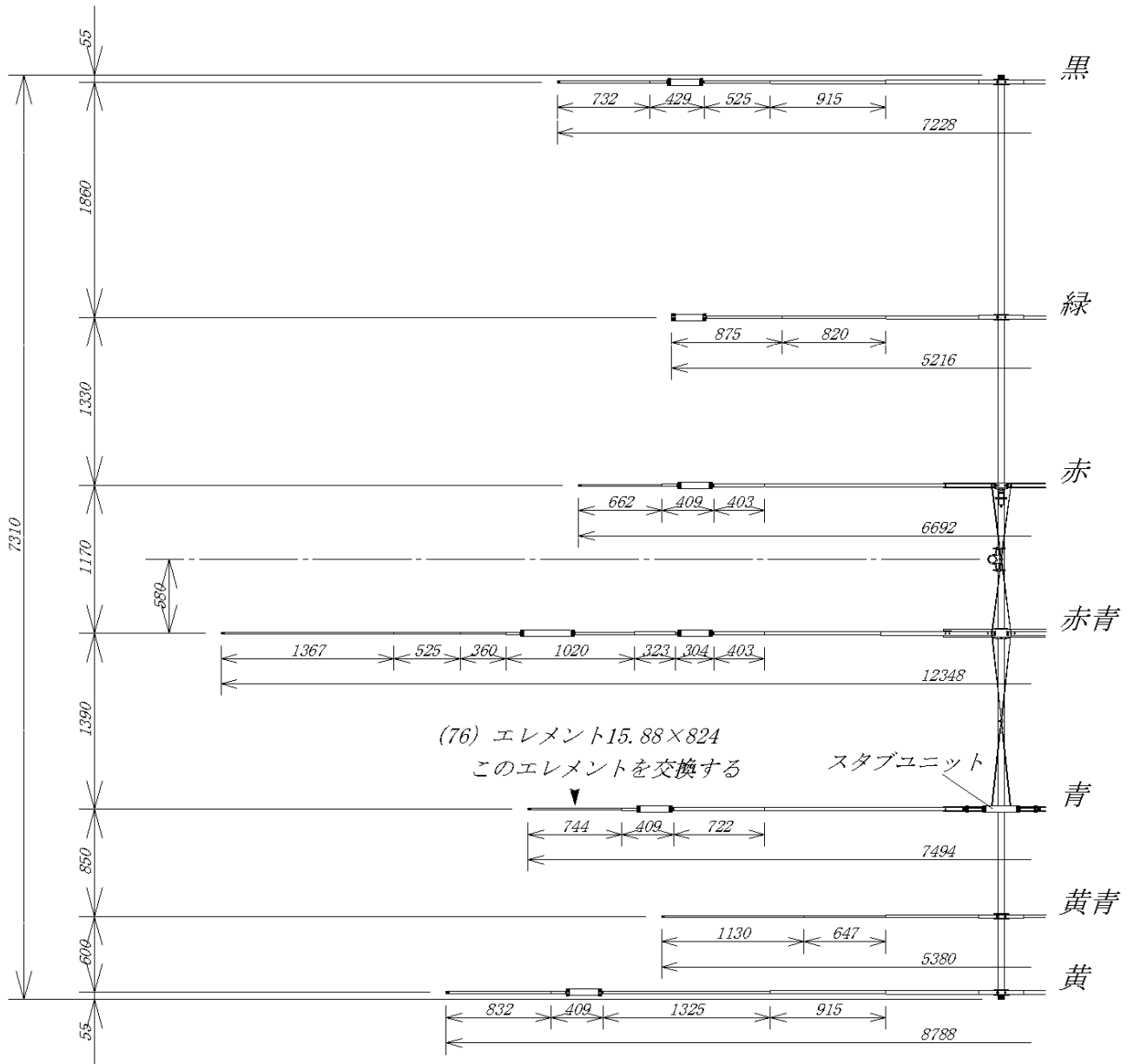
### 4. スタブユニットの取付（第3ラジエタ - に付けます）

- エレメントサポート上の左右のエレメント(6)の間にスタブユニット(78)を取り付けます。（図2参照）スタブユニットの向きに左右は無くどちら向きでも構いません。ドレンホールが必ず下を向くように取り付けて下さい。
- エレメント(6)にスタブクランプ(79)をM5×3.2×5.0 Uボルト(80)で緩く取り付けます。スタブユニット(78)のほぼ中央がブームの上に来るようにし、スタブクランプに有る穴へスタブユニットの端を差し込んでクランプ上のネジで固定します。
- スタブを固定した後にスタブクランプのUボルトのナット、ワッシャ-を締め付けます。スタブユニットの両端に16mmキャップをかぶせます。スタブユニットはエレメントの真上になるように取り付けて下さい。

## CK-4 | 部品表

部品番号	部 品 名	数 量	チェック
6 1	エレメントサポートL	1	
6 2	エレメントサポート補強材	1	
6 3	M5×3.5ネジセット（ナット、ワッシャ-付）	2	
6 5	インシュレーター	8	
6 6	M5×2.0ネジ	16	
5 7	M5×5.0ネジ	8	
6 8	M5ロックワッシャー	24	
6 9	エレメント 31.75/28.58×1826（赤青）	2	
7 0	エレメント 25.40/22.22×483（赤青）	2	
-	ラジエタ-トラップA（赤青） 本体の物を使用	-	
7 1	エレメント 22.22×323（赤青）	2	
7 2	ラジエタ-トラップB（長い）（赤青）	2	
7 3	エレメント 15.88×440（赤青）	2	
7 4	エレメント 12.70×605（赤青）	2	
7 5	エレメント 9.53×1430（赤青）	2	
7 6	エレメント 15.88×824（赤青） 第3ラジエタ -	2	
7 7	4×8セルフタップネジ	14	
7 8	スタブユニット	1	
7 9	スタブクランプ	2	
8 0	M5×3.2×5.0 Uボルトセット	2	
8 1	エレメントクランプ大	1	
8 2	5/16×5.1×1.25 Uボルトセット	2	
8 3	16mmキャップ（スタブ用）	2	
8 4	3.2mmキャップ（エレメント内側用）	2	
8 5	9.5mmキャップ（エレメント先端用）	2	
8 6	PENETROX	1	
8 7	テナコート1/12L	1	
8 8	組立説明書 本書	1	

# TA-371-40 寸法図

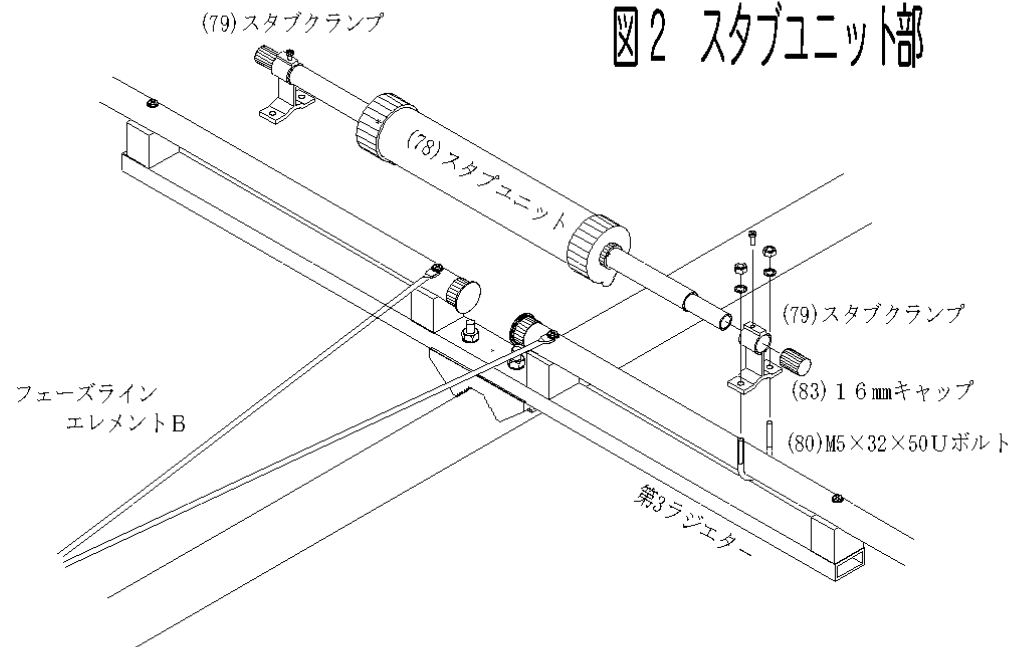


株式会社 ナガラ電子工業  
〒525-0013 滋賀県草津市新堂町 160  
NAGARA DENSHI KOGYO CO., LTD  
160 SHINDO-CHO KUSATSU-SHI 525-0013 JAPAN

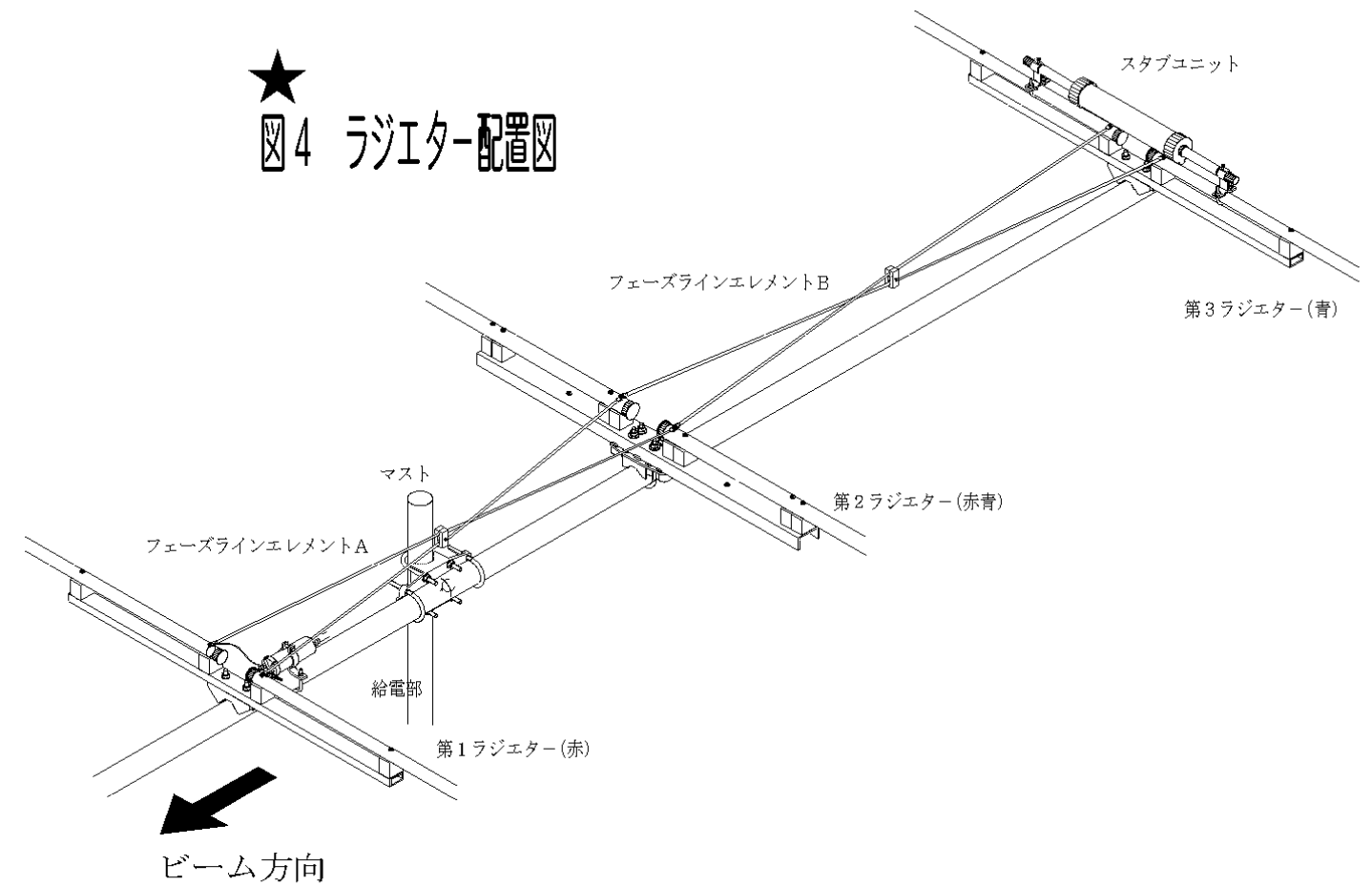
TEL (077) 568-1271  
FAX (077) 568-1274  
TEL +81 77 568 1271  
FAX +81 77 568 1274

<http://www.ex.biwa.ne.jp/~antenna/>

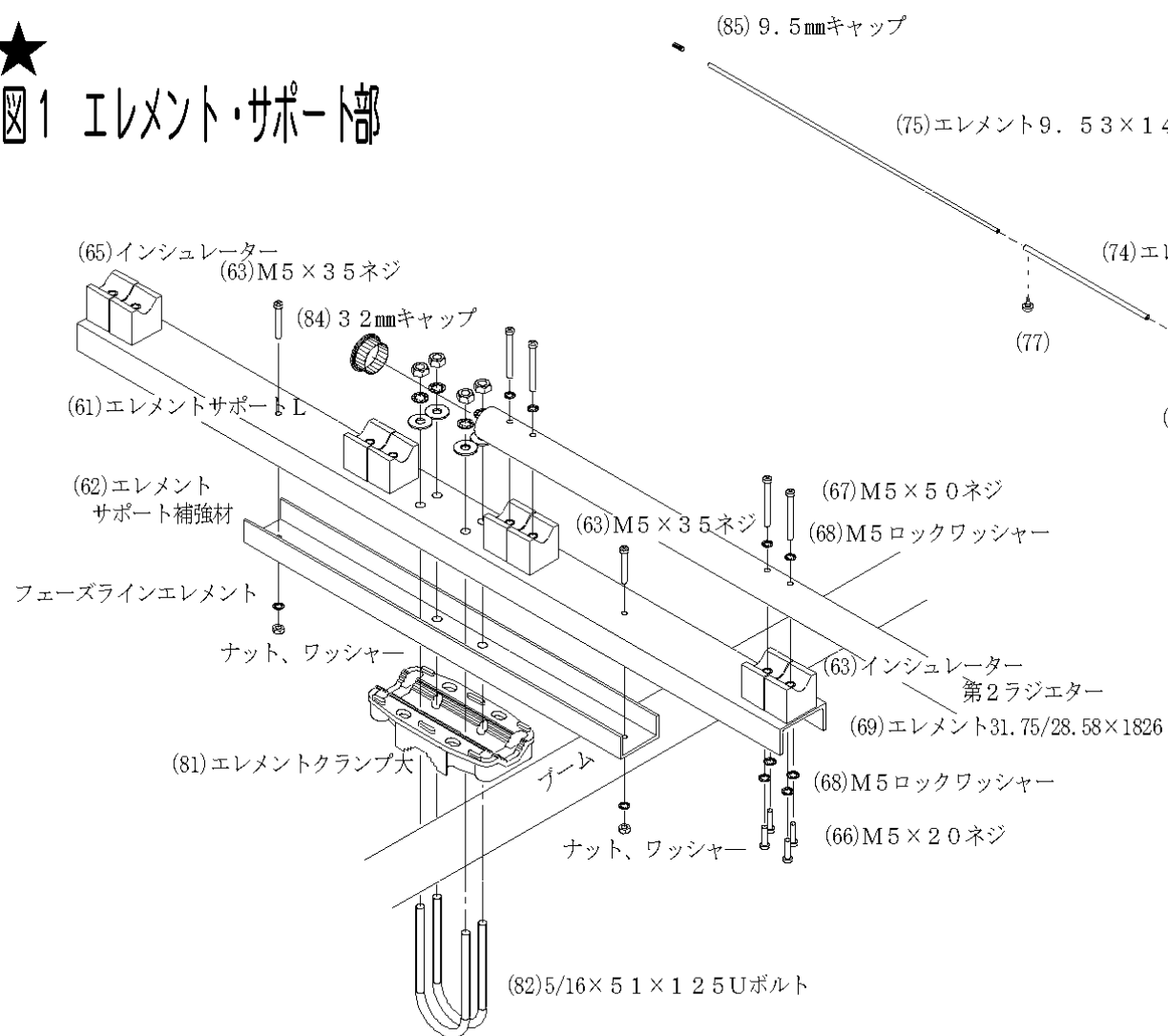
★  
図2 スタブユニット部



★  
図4 ラジエター配置図



★  
図1 エlement・サポート部



第3ラジエターの先端エレメントを取り替えて下さい。  
寸法図参照

★  
図3 エlement組立図

